

行政 Administration

新年あけましておめでとうございませす。市民の皆様には、平成25年の清々しい新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から市政にお寄せいただいておりますご支援とご協力に對し、心から厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の社会・経済情勢を顧みますと、自立式電波塔として世界一の高さを誇る東京スカイツリーの開業やロンドンオリンピックでの日本人選手の活躍は、閉塞感の漂う日本社会に感動と興奮という明るい話題を与えてくれました。

その一方で、日本経済は、欧州政府債務危機や日中関係悪化の影響を受けて不況という長いトンネルを抜け出すことができず、膨大な財政赤字を抱えている中であって国政は混迷を続けております。

消費税増税を柱とした社会保障と税の一体改革関連法の成立、赤字国債発行に必要な特例公債法案の成立の遅れによる自治体への地方交付税交付金の支払いの延期、さらには、年末の衆議院解散・総選挙の実施による国の新年度予算案決定の年明けへのずれ込みは、国民生活のみならず、地方自治体の運営にとっても大きな影響を与えたところであります。

このように政治・経済・社会情勢が大きく揺れ動いた1年間でありましたが、市政におきましては、下野市長合

計画・後期基本計画の初年度として、しもつけ重点戦略に掲げられた各種施策を着実に推進してきたところであります。

まず、「市民が主役のまちづくり」を進めるためのルールづくりとして、自治基本条例制定のための検討委員会を設置し、市民による条例づくりに着手したところであり、また、市民の皆様と行政の「協働のまちづくり」を進めるため、市民活動補助制度を創設し、市民主体のまちづくりの原動力となる事業への補助を開始したところであります。

また、近年の社会的・環境的な情勢の変化を踏まえ、良好な環境の保全と創造のための環境基本計画の制定や下野市ならではの「しもつけブランド」を認定する制度を設け、ブランド品の発掘・開発にも取り組んできたところであります。

そのような中にありまして、震災直後にオープンした「道の駅しもつけ」は、多くの方々にご利用いただき、初年度決算では県内一の売り上げを達成することができました。

今後、この施設を活用し、地域産業の振興やシティーセールスなどを積極的に展開するとともに、本市の情報発信を行うための顔として、地域の方々に親しまれ、ご利用いただく方々から愛される魅力ある道の駅になるよう、一層の努力をまいります。

さて、平成25年度の市政運営につきましては、まず、「自治体の憲法」と言

われる自治基本条例の制定に向けて市民フォーラムなどを開催し、引き続き、条例の制定に向けて検討を進めてまいります。

また、児童・生徒の安全・安心な学校生活を確保するため、小・中学校4校の老朽化した体育館の建替え・改修工事を進めるほか、老朽化した橋梁の修繕、さらには、関係地権者の皆様にご協力をいただきながら、新庁舎建設に向けての用地取得と造成工事に着手してまいります。

その他にも、JA栃木厚生連から医療法人社団友志会へ経営譲渡された石橋総合病院につきましては、市民の皆様にとつて無くてはならない重要な公的病院であることから、地域医療の充実などを要望するとともに、今後とも県と協議をしながら支援してまいります。

今後、国や地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されますが、市民の皆様が安心して暮らすことができ、夢や希望を持つことができるよう、市政運営に精一杯の努力をまいりますので、本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様のお一人おひとりにとりまして、健康で喜びと幸せに満ちた一年となりますよう心からお祈りいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

下野市長
広瀬寿雄



市民と協働 さらなる飛躍